

図書館だより 177

問い合わせ先
上野村図書館
☎・FAX59・2460

蟄虫啓戸(すごもりむしとをひらく)地中で冬ごもりしていた虫たちが、暖かい春の気配を感じて姿を現し始める頃を指す七十二候。虫と言っても昆虫だけでなく、ヘビやカエル、トカゲなど、土にひそんで冬を過ごす様々な生き物のことを指しています。



●本屋大賞ノミネート作品 もう読みましたか?あなたが選ぶ本屋大賞は?

- 『暁星』 湊かなえ(双葉社)…フィクションとノンフィクション、2つの物語が繋がったときに見える景色とは
- 『ありか』 瀬尾まいこ(水鈴社)…小さな、でも確かな支えとなる感動の物語
- 『イン・ザ・メガチャーチ』 朝井リョウ(日本経済新聞出版)…作家生活15周年記念作品
- 『失われた貌』 櫻田智也(新潮社)…新鋭の書下ろし初長編、警察ミステリー
- 『エピクロスの処方箋』 夏川草介(水鈴社)…現役医師が描く人の命と幸福について。「スピノザの診察室」続編
- 『殺し屋の営業術』 野宮有(講談社)…第71回江戸川乱歩賞受賞作
- 『さよならジャバウォック』 伊坂幸太郎(双葉社)…デビュー25周年、渾身の書き下ろし長編ミステリー
- 『熟柿』 佐藤正午(KADOKAWA)…人生を踏み外した女性の静かな決意
- 『探偵小石は恋しない』 森バジル(小学館)…驚愕体験の本格ミステリー
- 『PRIZE—プライズ—』 村山由佳(文藝春秋)…賞(prize)という栄誉を追い求める売れっ子作家の暴走を描く

素直な疑問符

吉野 弘

小鳥に声をかけてみた
小鳥は不思議そうに首をかしげた。

わからないから
わからないと
素直にかしげた
あれは
自然な、首のひねり
てらわれない美しい疑問符のかたち。

時に
風の如く
耳もとで鳴る
意味不明な訪れに
私もまた
素直にかしげ、小鳥の首でありたい。

吉野弘(1926・2014)山形県酒田市生まれ。
詩人。若い頃高村光太郎の「道程」を読んで感銘を受ける。
代表作には、結婚披露宴のスピーチに引用され広く知られる「祝婚歌」をはじめ、国語の教科書にも掲載された「夕焼け」などがある。
本詩は『吉野弘詩集』(岩波文庫)より。

●3月のおすすめ

『こぶたたんぽぽぼけっととんぼ』 馬場のぼる(こぐま社)…ぶた・たぬき・きつね・ねこ・こぶた・たんぽぽ・ぼけっと・とんぼ・ぼうし…楽しいしりとり遊びの絵本



図書館利用サービスのご案内

【本の宅配します】

高齢者・障がい者の方へ本をお届けします。
決まった本がなくてもこちらで選んでお持ちします。大きい文字の本、写真集、雑誌など。

問い合わせ ☎59・2460

親子で参加しよう!

心を育む絵本とわらべうた

3月18日(水) 午前10時~12時

横山由美子先生

あかちゃん身体調和体操・読み聞かせ

3月12日(木) 午前11時~

26日(木) 午前10時30分~

武井礼子先生

毎月15日は「^{うちどく}家読の日」です。

それぞれのご家庭で、ぜひ取り組んでみてください。